

# 農業複式簿記システム

使用開始の手順について

Ver.2

## 1) システムの初期設定

複式簿記データベースを開きます

ウインドウの上部に次のようなメニューバーがあります。



### [環境設定]-[ユーザー設定]

ユーザー情報で経営主氏名、所在地（住所）を記入します。

複式農業簿記の旧バージョンのデータを引き続き使用する場合、データベースファイル(Boki\_Bv1.mdb)を農業複式簿記のデータフォルダ（C:\¥農業複式簿記データ）にコピーして、データベースの情報で[データベースのリンク先を変更]をクリックしそのコピーしたファイルを選択します。

標準科目設定を必要があれば変更します。家計費標準口座は家事按分で家計費分を振り替える口座です。家計費（減価償却）は減価償却費の家計費分を振り替える口座です。（通常は変更する必要ありません。科目設定をカスタマイズした場合、変更が必要かもしれません。）

	設定科目名	設定コード
現金勘定口座	現金	1290000
組合員勘定口座	クミカン	1300000
家計費標準口座	事業主貸	1270100
家計費(減価償却)	事業主貸	1270200

## 2) 自分の経営に合わせて勘定科目および補助科目を設定します

### [環境設定]-[科目設定]

科目名	表示順序	貸借区分	補助科目名(1)	補助科目名(2)	コード	家事関連費按分設定	
						事業率	事業主貸における区分
雑収入	1100	収益			1000000	-1	
雑収入	1110	収益	水稲	*		-1	
借入金	1500	収益	小麦				
事業消費	1131	収益					
家事消費	1132	収益					
租税公課	2110	費用					
種苗費	2120	費用					
肥料費	2130	費用					
農具費	2140	費用					
農業費	2150	費用					
諸材料費	2160	費用					
修繕費	2170	費用					
動力光熱費	2180	費用					
作業衣費	2190	費用					
農業共済	2200	費用					
運賃手数料	2210	費用					
車輦費	2230	費用					
雇人費	2240	費用					
利子費用	2250	費用					

勘定科目、補助科目を設定します。補助科目は2階層になっています。補助科目2の家事関係按分設定で家事按分を必要とする補助科目を設定します。家事按分をする補助科目の場合、事業率に事業率をパーセントで記入します。また事業主貸における区分は按分された家計費を振り替える補助科目を指定します。科目名は必要なものは、ほぼそろっているはずですが、必要があれば追加してください。貸借区分は必ず設定してください。表示順序は科目名をリストから選択する場合の表示順を指定します。選択された科目名のコードは補助科目名(2)のところのコードが適用されています。

[出納簿の設定]ボタンをクリックすると出納簿形式(らくらく記帳と同様のインターフェイスでデータを扱えます)でデータを編集したい勘定科目を追加できます。コードは補助科目のものでもかまいません。出納簿口座名は科目名と異なるものを記入することができます。

表示順	出納簿口座名	コード
0	現金	1290000
1	クミカン	1300000
*	0	

### [環境設定]-[営農コード設定]

営農コード	クミカン科目	クミカン種別	仕訳科目	仕訳コード	(仕訳コード摘要)
110	米	うるち米	販売収入	1000101	水稲 (白)米
120	米	加工米	販売収入	1000100	水稲
130	米	規格外・低品位米	販売収入	1000100	水稲
190	米	その他	販売収入	1000100	水稲
210	麦類	小麦(一般)	販売収入	1000000	
220	麦類	小麦(種子用)	販売収入	1000000	
230	麦類	小麦(規格外)	販売収入	1000000	
290	麦類	その他	販売収入	1000000	
310	豆類・雑穀	大豆	販売収入	1000000	

[その他補助帳簿]-[組勘取引の取込]メニューでクミカンデータを仕訳帳に取り込むとき参照されるコード変換表です。

### 3) 前年度からの繰越作業をします

#### [環境設定]-[開始仕訳の記入]

初年度のみ資産・負債・資本の残高を設定してください。2年目以降は自動設定されます。  
借方と貸方の合計が一致するように記入します。

資産の部			負債・資本の部		
借方科目	金額	摘要	貸方科目	金額	摘要
1430000	25,000,000	開始仕訳	1540000	0	資本金
1310100	300,000	開始仕訳	1500000	10,000	預り金
1300000	1,250,000	開始仕訳	1490000	7,000,000	借入金
1290000	250,000	開始仕訳	*	0	
1440000	4,500,000	開始仕訳			
1420000	8,000,000	開始仕訳			
1360100	200,000	開始仕訳			
1380000	115,000	開始仕訳			
*	0				
合計金額			合計金額		
39,615,000			7,010,000		
			差引金額 32,605,000		

(資本金を最後に記入します。そのとき資本金額を資本金の記入前の差引金額と一致させます。)

※ 決算処理において残高の繰越は補助科目第1階層ごとに区分して行われます。開始仕訳においても補助科目第1階層ごとに区分して金額を入力してください。特に普通預金に複数の口座がある場合は、補助科目第1階層で区分してください。

#### [その他補助帳簿]-[棚卸し表]

申告年度（メニューの左端2番目）を前年度に変更し前年度の棚卸しを記入します。

2000年度棚卸し帳								
区分抽出: すべて		棚卸帳の印刷			仕訳帳を更新		閉じる	
年度	棚卸し区分	損益科目	摘要	単価	数量	金額		
2000	農産物等	家事消費	1040000 自家用飯米	11,500	10	115,000		
*				0	0	0		

棚卸し区分は資産科目を、損益科目には仕訳する損益科目を指定します。

[仕訳帳を更新]ボタンで前年度の期末と今年度の期首の棚卸し仕訳を仕訳帳に記入します。

## [その他補助帳簿]-[償却資産台帳]

償却資産台帳を作成します。

取得年月日	償却の記録	摘要	取得額・増価	普通償却費	割増償却費	経費算入額
S56.9.1	▶	償却資産の取得	105,000	0	0	0
S56.12.31		昭和56年度減価償却費	0	18,900	0	18,900
S57.12.31		昭和57年度減価償却費	0	18,900	0	18,900
S58.12.31		昭和58年度減価償却費	0	18,900	0	18,900
S59.12.31		昭和59年度減価償却費	0	18,900	0	18,900
S60.12.31		昭和60年度減価償却費	0	18,900	0	18,900
S61.12.31		昭和61年度減価償却費	0	5,250	0	5,250
H20.12.31		平成20年度減価償却費	0	1,050	0	1,050
H21.12.31		平成21年度減価償却費	0	1,050	0	1,050
H22.12.31		平成22年度減価償却費	0	1,050	0	1,050
H23.12.31		平成23年度減価償却費	0	1,050	0	1,050
	*		0	0	0	0

償却済金額: 103,950

名称、種別、取得年月日、残存価額、耐用年数、事業割合を記入して[新規データの償却記録作成]ボタンをクリックすると今年度までの減価償却データが自動作成されます。実際の償却費と異なる場合は手動で変更してください。

[減価償却設定]ボタンはこの資産の今年度の償却費を計算し償却資産台帳に記録します。(Shift ボタンを押しながらクリックするとすべての資産で今年度の償却費を設定します)

[仕訳帳記入]ボタンは設定された償却費を仕訳帳に記入します。

- ※ 土地改良費（繰延資産）、一括償却資産等の均等償却の場合は減価償却データを作成する前に均等償却設定ボタンをクリックします。
- ※ 共有資産（共同利用機械等）は自分の持分を取得価額に記入します。（メモに実際の取得額等を記録しておきます。）
- ※ 平成19年の残存価額の廃止に伴い平成20年度から始まった取得額の5%を5年間で均等償却する場合[簿価償却]欄に取得額の5%の金額が表示されます。（償却費の計算時に自動入力されます）
- ※ 平成10年（建物の耐用年数の変更）、平成21年（農機具の耐用年数の変更）をまたぐ償却期間を持つ資産は取得時の耐用年数で償却記録を作成してから、耐用年数に変更になった年以降の償却記録を削除し（必要ならば簿価償却欄も削除する）、耐用年数を変更してから再度償却記録の作成を行うとほぼ正しく計算できます。
- ※ 資産を売却、譲渡する場合は抹消年月にその年月日を記載し抹消理由を選択します。抹消理由をその他にするとメモ欄の1行目が減価償却の計算表の摘要欄に記載されます。

以上で今年度の経営を記帳する準備ができました。

開始仕訳における資産の農産物、農機具等、建物・建築物などの金額が償却資産台帳、棚卸し帳のデータと整合性がとれているか確認してください。それらをチェックする仕組みはこのシステムにはありません。

#### 4) 実際に記帳を始めます

現金、クミカン、普通口座での取引の記帳は出納帳と仕訳帳の両方で行えますが、それ以外の勘定科目から勘定科目への振替は仕訳帳でのみ記帳できます。

#### 仕訳帳の記入

メインメニューの[仕訳帳の記入]ボタンをクリックします。

仕訳帳の編集								
取引日	取引種別	金額	借方		貸方		摘要	数量
			科目	コード	科目	コード		
▶ 01/01/01	開始	115,000	農産物等	1380000	残高	1560000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	200,000	前払金	1360100	残高	1560000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	8,000,000	建物・建築物	1420000	残高	1560000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	4,500,000	農機具等	1440000	残高	1560000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	32,605,000	残高	1560000	資本金	1540000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	10,000	残高	1560000	預り金	1500000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	7,000,000	残高	1560000	借入金	1490000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	25,000,000	土地	1430000	残高	1560000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	300,000	普通預金	1310100	残高	1560000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	1,250,000	クミカン	1300000	残高	1560000	開始仕訳	0
01/01/01	開始	250,000	現金	1290000	残高	1560000	開始仕訳	0
01/01/01	棚卸(期首)	115,000	家事消費	1040000	農産物等	1380000	自家用飯米	10
*	通常	0						0

[Ctrl]+w で詳細表示にきり変わります

仕訳帳の編集							
取引日	取引種別	金額	借方		貸方		摘要
			科目	コード	科目	コード	
▶ 01/01/01	開始	115,000	農産物等	1380000	残高	1560000	開始仕訳
11							
01/01/01	開始	200,000	前払金	1360100	残高	1560000	開始仕訳
10			稲経資金				
01/01/01	開始	8,000,000	建物・建築物	1420000	残高	1560000	開始仕訳
9							
01/01/01	開始	4,500,000	農機具等	1440000	残高	1560000	開始仕訳
8							

取引種別は開始、通常、整理、自家消費、減価償却、家事按分、棚卸(期末)、棚卸(期首)、育成費繰延、引当金、決算、決算(資本)、繰越 と区別されています。

実際に手動で設定するのは通常、整理、自家消費、育成費繰延、引当金です。整理、自家消費は通常として扱ってもかまいません。

詳細表示における取引日の下はデータ番号です。借方、貸方のそれぞれの下段にはコードに対する項目名が表示されます。摘要の下段は自動記入された時の識別子が表示されます。

## 出納帳の記入

メインメニューの[出納帳]ボタンをクリックすると、仕訳データを出納帳表記で編集できます。抽出条件の選択で申告年度 (This Year)、月 (Month)、口座 (Place) 等を選択し[OK]ボタンをクリックします。([さらに絞込]ボタンで抽出条件をさらに設定できます。科目設定の画面の[出納簿の設定]ボタンで表示される口座を追加できます。)

ID	日付	科目	項目(1)	項目(2)	Code	摘要	数量	取入	支出	残高
1	01/01/01	残高			1560000	開始仕訳	0	250,000	0	250,000
							0	0	0	250,000

このウインドウ (画面) はらくらく記帳の出納帳を複式簿記のデータに対応させたものです。記入、データの編集方法についてはらくらく記帳とほぼ同じです。らくらく記帳のマニュアルを参照してください。

## 家事按分

家事按分もらくらく記帳と同様に処理できます([決算ツール][家事按分表])。らくらく記帳のマニュアルを参照してください。

## ※便利な使い方

この出納帳ウインドウはそれ自体が独立したプログラムです。単独で起動させることができます。(現金出納帳をこまめに記入したい場合、単独だと早く起動します。)

デスクトップに出納帳のショートカットを作成する手順を以下に示します。

1. デスクトップで右クリックし[新規作成]-[ショートカット]を選択します。
2. [参照]ボタンをクリックし複式農業簿記システムのインストールフォルダ (例: C:\¥ig 複式農業簿記)にある SuitoPro.exe を選択します。
3. ショートカットの名前を指定してデスクトップにショートカットを作成します。
4. 作成したショートカット上で右クリックしプロパティを表示させる。
5. リンク先に SuitoPro.exe のフルパスが指定されています。その右に各スイッチを追加します。2007年度の現金出納簿を開く場合のリンク先の例: " C:\¥ig 複式農業簿記¥SuitoPro.exe" /y 2012 /q 現金 /m 0 (説明: " C:\¥ig 複式農業簿記は複式農業簿記システムのインストールフォルダです。/y は年度の指定です。(2012年を指定している) /q は口座の指定です。(現金を指定しています) /m は月の指定です (0~12を指定 0はすべての月)

# 収支計算による記帳から青色申告、複式簿記へ

## 1. 記帳から青色申告への移行に伴い変わること。

### 家族への専従者給与の支払

青色専従者についての届出書を提出することにより、家族へ支払う労賃・給与が損金（経費）扱いとすることが出来る。給与の支払を帳簿に記載することが必要。（専従者給与として仕分ける。）

### 源泉徴収義務者となる事による事務作業

専従者給与及び備人費の支払に伴い源泉徴収を行い（給与・労賃の支払の際は源泉徴収税を給与・労賃から差引、支払う）、源泉徴収税預り金を帳簿へ記載する（預り金として仕分ける。）

源泉徴収税納付（毎月。但し納付の特例を申請することにより年2回）

源泉徴収簿の保管及び年末調整

### 帳簿の記載例

年月日	科目	摘要	収入	支出
07/04/30	専従者給与	専従者給与4月分		100,000
07/04/30	預り金	源泉税預り金(月額甲欄)	710	
07/04/30	備人費	労賃4月分		80,000
07/04/30	預り金	源泉税預り金(月額乙欄)	2400	
07/05/10	預り金	源泉税納付(4月分)		3,110
07/05/20	備人費	田植え手伝い賃金(日額丙欄)		8,000
07/12/20	専従者給与	平成20年賞与		300,000
07/12/20	預り金	源泉税預り金(4%)	12,000	
07/12/25	専従者給与	専従者給与12月分		100,000
07/12/25	預り金	源泉税預り金(月額甲欄)	710	
07/12/25	預り金	年末調整による不足分	480	

### 源泉徴収簿の記載および年末調整

#### 給与

	支給月日	総支給金額	社会保険控除	差引支給額	扶養親族数	算出税額	年末調整による過不足税額	差引徴収税額
1月	H19.1.31	100,000		100,000	0	710		710
2月	H19.2.28	100,000		100,000		710		710
3月	H19.3.31	100,000		100,000		710		710
12月	H19.12.25	100,000		100,000		710	480	1,190



## 賞与等

	支給月日	総支給金額	社会保険 控除	差引支給額	扶養親 族数	算出税額	年末調整によ る過不足税額	差引徴収税額
	H19.12.20	300,000		300,000		12,000	0	12,000
				0			0	0
	計	300,000	0	300,000		12,000	0	12,000

## 年末調整

区分	金額	税額
給与、手当等	1,200,000	8,520
賞与等	300,000	12,000
計	1,500,000	20,520
給与所得控除後の給与等の金額	850,000	
社会保険料控除(給与等の控除)	0	
社会保険料控除(申告控除)		
小規模企業共済等掛金の控除額		
生命保険料の控除額	50,000	
損害保険料の控除額		
配偶者特別控除額		
基礎控除及びその他控除合計額	380,000	
所得控除額合計	430,000	
課税給与所得及び年税額	420,000	21,000
住宅取得等特別控除額		
年調年税額		21,000
超過額の 精算		
不足額の 精算	本年最後の給与から徴収する金額	480
	翌年に繰り越して徴収する金額	

## 2. 現金出納帳と棚卸しについて

### 現金出納帳

現金出納帳は経営に関する支出・収入はもとより、経営主が現金で支出するもの（家計費も含む）、また現金で受け取った収入（給与、謝礼を含む）もすべて記帳するのが原則です。また現金ですので1日ごとの残高が赤字となってはいけません。年度末（12月31日）には残高を翌年（1月1日）に繰り越します。

### 棚卸し

棚卸しには 収入の棚卸し（農産物の棚卸し）と経費の棚卸し（未収穫農産物、生産資材の在庫等、販売用動物）があります。また果樹・牛馬等の育成費用も経費の棚卸しに類したものと考えられます。

① 農産物の棚卸し

年度末に、収穫後未販売の農産物についてその時の時価（販売したときの手取り額）で金額を見積もり、収入に加えます。また実際にその農産物を販売した年（一般には翌年）にはその金額を収入から差し引きます。（注：実際の販売額は翌年の収入に加えます）

② 未収穫農産物（立毛）

年度末にまだ未収穫で圃場で栽培中の作物です。その作物（圃場）に投下した種苗費、肥料費、農薬費、その他諸材料費を経費より差引、翌年（収穫年）の経費に加えます。

③ 生産資材の在庫（種苗、肥料、農薬等）

代金を支払済みで納屋、倉庫に在庫している種子、肥料、農薬、その他生産諸資材の取得金額を経費より差引、翌年の経費に加えます。但し自家採取種子については「農産物の棚卸し」として扱い、実際に使ったときに事業消費とするのが一般的です。

④ 販売用動物

主に肉用として販売目的で肥育している動物の年末までの育成費用を経費より差引、翌年（販売した年）の経費に加えます。

**棚卸帳**

区分	科目	摘要	単価	数量	金額
農産物等	販売収入	自販用玄米(60Kg)	11,000	15	165,000
農産物等	事業消費	自家採取種籾(1Kg)	150	20	3,000
未収穫農産物	種苗費	小麦種子(60Kg)	14,364	2	28,728
未収穫農産物	農薬費	小麦除草剤代金(ガレース)			12,000
未収穫農産物	肥料費	小麦肥料代			50,000

※このソフト（農業複式簿記）には補助簿として棚卸帳が付属しています。上記の例のように入力して【仕訳帳を更新】ボタンをクリックすることにより。（期末と期首の）棚卸し仕訳が完了します。

## 果樹・牛馬等の育成費用の翌年への繰越

果樹・乳牛・繁殖馬等で一定期間育成しないと農産物の生産資源とならないものの育成費用（種苗費、素畜費、肥料、農薬等）を成熟し生産資源として使用可能になる年まで繰り越します。繰り越した育成費は一般に耐用年数で均等割りか減価償却費として経費に算入します。（アスパラ、リンドウ、乳牛など）

※ このソフト（農業複式簿記）には育成費の管理をする機能（補助簿）が付属しておりませんので別途表計算ソフト等を使い管理してください。今年度の経費を育成費として翌年以降に繰越す場合は[仕訳帳記入]により

日付	借方科目	貸方科目	摘要	金額
H19.12.31	育成中果樹・牛馬等	種苗費	りんどう苗代金	150,000
H19.12.31	育成中果樹・牛馬等	肥料費	肥料代金	54,600

の例のように仕訳をします（取引種別は育成費繰延とします）。また成熟した場合は

日付	借方科目	貸方科目	摘要	金額
H20.4.30	果樹・牛馬等	育成中果樹・牛馬等	H19 定植りんどう育成費用	204,600

のように仕訳、繰延資産として（償却資産台帳で）管理します。

## 農業経営基盤強化準備金の取り扱いについて

農業経営基盤強化準備金制度を利用して準備金を積立また取り崩す場合の農業複式簿記システムの利用方法について説明します。

準備金の繰入（積立）および取り崩しは仕訳帳に直接記入します。このとき取引種別には必ず[引当金]を設定してください。

例えば今年度 320 万円を準備金に繰入、120 万円を農機具取得のため取り崩したすると

(1) 繰入と繰戻（取引種別は引当金）

日付	借方科目	貸方科目	摘要	金額
H23.12.31	農経基盤準備金繰入	農経基盤強化準備金	戸別所得補償を準備金に繰入	3,200,000
H23.4.30	農経基盤強化準備金	農経基盤準備金繰戻	準備金を取崩	1,200,000

(2) 圧縮記帳（取引種別は通常）

日付	借方科目	貸方科目	摘要	金額
H20.4.30	圧縮記帳損失	農機具等	農機具取得代金を圧縮記帳	1,200,000

と仕訳帳に記入します。

### 3. 複式簿記について

青色申告の場合正規の簿記（一般に複式簿記）で記帳し、貸借対照表を添付すると 65 万円の青色申告特別控除が認められます（それ以外は 10 万円）。

複式簿記は簡単に言うと勘定科目間での金銭の振り替えで事業の内容を記述するものです。

**勘定科目**には通常使うものとして、収入科目（販売収入、雑収入、家事消費、事業消費）と経費科目（租税公課、肥料費、種苗費……）の損益勘定と、資産科目（現金、普通預金、クミカン、農産物、農機具等……）と負債科目（借入金、預り金、未払い金……）の貸借勘定そして事業主勘定（事業主借、事業主貸、専従者給与）があります。また決算のときのみ使う特別な勘定科目として、損益、資本金、残高の勘定科目が有ります。

これらの勘定科目間での振替を記述するのが仕訳帳または振替伝票です。ここでは仕訳帳を使った複式簿記について紹介します。

#### 仕訳帳

	日付	借方科目	貸方科目	摘要	金額
1	H19.5.2	肥料費	現金	肥料代として	50,000
2	H19.5.14	種苗費	クミカン	種糶	15,000
3	H19.6.30	現金	販売収入	直売所より野菜販売代金	2,560
4	H19.12.25	クミカン	雑収入	産地づくり交付金	250,000
5	H19.12.30	外部出資・積立金	雑収入	コンバイン利用組合余剰金配分	25,400
6	H19.4.25	クミカン	雑収入	農協特別配当	16,500
7	H19.4.25	有価証券	雑収入	農協特別配当(出資迂回分)	13,500
8	H19.4.25	雑収入	事業主借	農協特別配当(営農貯金分)	1,200
9	H19.9.20	種苗費	事業消費	小麦種子(自家採取)	8,000
10	H19.12.30	事業主貸	家事消費	自家消費米	50,000
11	H19.8.1	農機具等	クミカン	中古ロータリー代金	300,000
12	H19.12.31	減価償却費	農機具等	減価償却費(中古ロータリー)	62,500
13	H19.12.20	動力光熱費	現金	家庭用灯油代支払(○×商店へ)	45,000
14	H19.12.31	事業主貸	動力光熱費	家庭用灯油家事按分(家事率 80%)	36,000

※このソフト複式農業簿記では 11 行の減価償却費の仕訳は[決算ツール][減価償却費の仕訳帳記入]、14 行の家事按分の仕訳は家事按分表の家事按分の実行で記入されます。

※ 仕訳帳で振替する金額は貸方から借方へ動くと考えるとわかりやすい。

仕訳帳の各行を貸方科目の勘定元帳と借方科目の勘定元帳に下記のように転記する

### 勘定元帳

#### 現金

日付	科目	摘要	借方	貸方	差引残高
H19.5.2	肥料費	肥料代として		50,000	154,256
H19.6.30	販売収入	直売所より野菜販売代金	2,560		156,816
H19.12.20	動力光熱費	家庭用灯油代支払(○×商店へ)		45,000	111,816

#### クミカン

日付	科目	摘要	借方	貸方	差引残高
H19.5.14	種苗費	種籾		15,000	854,751
H19.4.25	雑収入	農協特別配当	16,500		871,251
H19.8.1	農機具等	中古ロータリー代金		300,000	571,251
H19.12.25	雑収入	産地づくり交付金	250,000		821,251

#### 種苗費

日付	科目	摘要	借方	貸方	差引残高
H19.5.14	クミカン	種籾	15,000		15,000
H19.9.20	事業消費	小麦種子(自家採取)	8,000		23,000

#### 雑収入

日付	科目	摘要	借方	貸方	差引残高
H19.4.25	クミカン	農協特別配当		16,500	15,000
H19.4.25	有価証券	農協特別配当(出資迂回分)		13,500	28,500
H19.4.25	事業主借	農協特別配当(営農貯金分)	1,200		27,300
H19.12.25	クミカン	産地づくり交付金		250,000	277,300
H19.12.30	外部出資・積立金	コンバイン利用組合余剰金配分		25,400	302,700

#### 農機具等

日付	科目	摘要	借方	貸方	差引残高
H19.8.1	クミカン	中古ロータリー代金	300,000		300,000
H19.12.31	減価償却費	減価償却費(中古ロータリー)		62,500	237,500

#### 事業主貸

日付	科目	摘要	借方	貸方	差引残高
H19.12.30	家事消費	自家消費米		50,000	50,000
H19.12.31	動力光熱費	家庭用灯油家事按分(家事率 80%)		36,000	86,000

※このソフト複式農業簿記では元帳ボタンをクリックしリストの科目名をダブルクリックすることにより勘定元帳が表示されます。

単式簿記（簡易な簿記）は複式簿記の仕訳帳の記入を省略し損益勘定の元帳と現金出納簿等（現金の勘定元帳）を作成するものと考えられます。但し当座資本（現金、クミカン、普通預金等）の勘定元帳を除き貸借勘定の元帳を作成しないので、貸借対照表は作成できません。単式簿記の最大の欠点は貸借対照表による資産管理が出来ないことです。

## 棚卸しの仕訳

複式簿記では棚卸しの仕訳も出来ます。

期末（12月31日）付けで損益勘定から資本勘定に振り替えます

日付	借方科目	貸方科目	摘要	金額
H19.12.31	農産物等	販売収入	自販用玄米	150,000
H19.12.31	未収穫農産物	種苗費	立毛小麦種子代金	15,000
H19.12.31	棚卸し資材等	肥料費	肥料在庫	54,600

翌年期首に逆の仕訳を記入します（資本勘定から損益勘定へ）

H20.1.1	販売収入	農産物等	自販用玄米	150,000
H20.1.1	種苗費	未収穫農産物	立毛小麦種子代金	15,000
H20.1.1	肥料費	棚卸し資材等	肥料在庫	54,600

※ このソフト複式農業簿記では棚卸しの仕訳は棚卸帳より設定できます

## 複式簿記の決算仕訳

仕訳帳の記入と元帳への転記が終了したら、決算の作業に移ります。決算仕訳とはそれぞれの勘定科目の残高を0にする作業です。先ず損益勘定の各科目において差引残高を損益勘定に振替えます。次に損益勘定の残高を当期純利益（欠損金）として資本金勘定に振り替えます。さらに事業主勘定、専従者給与（科目）の残高を資本金勘定に振り替えます。最後に貸借勘定の各科目と資本金勘定の残高を残高勘定に振り替えます。この時点で残高勘定の差引残高は0になっているはずですが、もしなっていない場合は今までの作業に間違いがあるということなので、再確認をします。

※ このソフト複式農業簿記では決算仕訳また次年度への繰越作業は[決算ツール][次年度繰越]で自動で仕訳されます。仕訳データを修正したときは再度[決算ツール][次年度繰越]を実行します

## 開始仕訳・次年度への繰越作業

順序が逆ではありますが、最後に開始仕訳について説明いたします。複式簿記を始めるに当たって自分の事業資産を調べ期首の資本金の額（元入金）を決定しなくてはなりません。

### 開始仕訳

日付	借方科目	貸方科目	摘要	金額
H19.1.1	現金	残高	開始仕訳	150,000
H19.1.1	クミカン	残高	開始仕訳	2,500,000
H19.1.1	普通預金	残高	開始仕訳	1,568,254
H19.1.1	定期預金	残高	開始仕訳	2,500,000
H19.1.1	土地	残高	開始仕訳	25,400,000
H19.1.1	農産物等	残高	開始仕訳	124,000
H19.1.1	農機具等	残高	開始仕訳	8,543,568
H19.1.1	建物	残高	開始仕訳	15,560,123
H19.1.1	有価証券	残高	開始仕訳	1,500,000
H19.1.1	残高	借入金	開始仕訳	12,590,000
H19.1.1	残高	預り金	開始仕訳	25,000
H19.1.1	残高	資本金	開始仕訳	45,230,945

先ず資本科目について期首の残高を、貸方を残高勘定、借方を資本勘定にして仕訳帳に記載します。

次に負債科目について期首の残高を、借方を残高勘定、貸方を負債勘定にして仕訳帳に記載します。

最後に資本科目の残高の合計額から負債科目の残高の合計額を差し引き資本金（元入金）の額を求め、その額を、借方を残高勘定、貸方を資本金勘定にして仕訳帳に記載します。これで開始仕訳の完了です。この時点で仕訳帳を元帳に転記すると、残高勘定の残高は0となります。

この作業は2年目以降は次年度への繰越作業として、その年の決算が終わりましたら、残高勘定に振り返られた貸借勘定、資本金勘定のかく残高を翌年の期首（1月1日）へ繰り越します。（借方→貸方、貸方→借方と決算仕訳の逆の振替を翌年の期首で行うと開始仕訳となる）

### 青色決算書の作成上の注意

青色決算書の損益計算書は単式簿記向けに作られています。

複式簿記における損益の各科目の決算額（決算仕訳で損益勘定に振り替えられる額）は棚卸し後の金額ですが、青色決算書の決算額は棚卸し前（期首棚卸しも除く）の額を記入しなければなりません。

また貸借対照表も複式簿記に於ける当期純利益には専従者給与が含まれているのに比べ、青色決算書の貸借対照表の所得金額は当期純利益から専従者給与を差し引いた額を記入します。